

LPガス
人と地球にスマイルを

ちば炎の仲間

発 行
 一般社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
 TEL 043-246-1725
 FAX 043-243-6781
 E-mail : chibalpg@chibalpg.or.jp
 http://www.chibalpg@chibalpg.or.jp
毎月10日は保安の日

千葉県へLPガス発電機寄贈！ 県内市町村にも順次寄贈！！

【森田健作知事と横山会長と伊藤県議会議員】

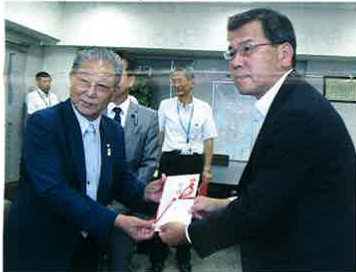


一般社団法人千葉県LPガス協会 横山一洋会長、伊藤昌弘県議会議員（協会会員）は、さる8月19日に千葉県庁を訪問し、千葉県防災危機管理部長室において中岡靖部長へ低圧LPガス発電機一式の目録を手渡しました。

協会では避難所への普段からのLPガス供給設備の設置とLPガス自動車の導入を千葉県と各市町村長に要望しております。各市町村にも支部の協力をいただき、LPガス発電機を順次寄贈しております。

また横山協会長は、寄贈前に森田健作知事を表敬訪問しました。4月1日に一般社団法人となり、第1回社員総会で横山氏が会長に就任したことのあいさつと災害に強いLPガスをアピールするために訪問いたしました。

【県防災危機管理部中岡靖部長】



各支部では、各市町村への発電機
の寄贈を行っています。

印旛支部ではいち早く佐倉市、
酒々井町、八街市にLPガス発電機
を寄贈していただきました。

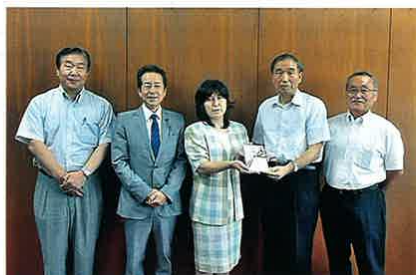
八街市では、寄贈したLPガス発
電機（紹介コメント付き）とバナー
（4面参照）を市役所のロビーに展示

していただき、市の職員、市民の方々にLPガスによる発電機があることを周知してもらっています。「災害に強いLPガス」が地域の防災になくてはならないことを認知していただくことが必要です。今後の活動の参考にしていただきたいと思います。

【佐倉市】8月26日



【酒々井町】8月26日



【八街市】9月4日



【紹介コメント文】

～家庭用LPガスで発電する小型屋外発電機～

東日本大震災以降、電力供給の不安から家庭でも発電機への注目が集まっている中、環境にも配慮した高効率発電機として、開発されました。

千葉県LPガス協会は、この発電機を昨年創設した防災基金を財源に、千葉県の54市町村に対し、自治体防災力強化の一助として寄贈をします。メンテナンスの簡単なこの発電機は、非常用電源として、災害時の応急対策に役立ちます。



業界最新情報は全L協事務局通信から！ アクセスは協会HPより！

お知らせ CHIBAちば コーナー

防災危機管理部産業保安課 保安対策室

1 平成25年度高圧ガス保安活動 促進週間関連事業のお知らせ

県では関係事業所の防災意識の高揚や一般消費者等への啓発等を目的とした高圧ガス保安活動促進週間関連行事を下記のとおり実施します。

皆さまの御協力・御参加をよろしくお願ひします。

(1) 千葉県高圧ガス火薬類保安大会

① 日時

平成25年10月23日(水)

14時から

② 場所

三井ガーデンホテル千葉 3階「平安」
千葉市中央区中央1-11-1
(TEL 043-224-1131)

③ 主催

千葉県、一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会、一般社団法人千葉県冷凍設備保安協会、一般社団法人千葉県LPガス協会、千葉県高圧ガス流通保安協会、千葉県冷凍空調設備協会、千葉県火薬類保安協会

④ 表彰

千葉県知事表彰、一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会会長表彰、一般社団法人千葉県冷凍設備保安協会会長表彰、一般社団法人千葉県LPガス協会会長表彰、千葉県高圧ガス流通保安協会会長表彰、千葉県冷凍空調設備協会会長表彰、千葉県火薬類保安協会会長表彰

⑤ 記念講演

講師：石川 顕 氏

(現フリーアナウンサー、元TBSアナウンサー)

(2) 空気呼吸器装着訓練

① 目的

毒性ガスによる災害事故が発生した場合に、事業所の従業員が適切な防災活動を行えるよう、空気呼吸器の適確な装着と迅速な作業方法を習得することを目的とする。

② 日時

平成25年10月29日(火)

13時から

※ 荒天の場合は10月31日(木)

③ 場所

千葉県消防学校
(千葉市中央区仁戸名町666-2)

④ 主催

千葉県、千葉県高圧ガス地域防災

協議会

⑤ 訓練方法

i 想定

液化塩素50kg入り容器のバルブが損傷し、塩素ガスが噴出したため、空気呼吸器を装着して容器に防災キャップを取り付け、塩素ガスの漏えいを防止した後、負傷者を発見し、担架で搬送する。

ii 訓練内容

1 チーム2名で行い、保安帽、革手袋を装着した状態でスタートして、空気呼吸器を装着し、トンネルをくぐり、Oリング、防災工具を使用して容器に防災キャップ等を取り付けた後、2名で担架を運ぶ。

(3) 高圧ガス輸送車等防災訓練

① 目的

高圧ガス輸送車の移動中における事故を想定して訓練を実施することにより、地域住民への二次災害の発生及び拡大を防止する処置を習得し、警察及び消防機関並びに防災事業所の協力体制を確立するとともに、関係事業所の防災意識の高揚及び地域住民への啓発を図ることを目的とする。

② 日時

平成25年11月20日(水)

13時から

③ 場所

市原市総合防災センター
(市原市山田橋343番地
(山倉ダムの近く))

④ 主催

千葉県、千葉県高圧ガス地域防災協議会

⑤ 参加機関

千葉県、市原市、千葉県警察、市原市消防局、千葉県高圧ガス地域防災協議会、一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会、一般社団法人千葉県LPガス協会、一般社団法人千葉県冷凍設備保安協会、千葉県高圧ガス流通保安協会

⑥ 訓練項目

i アンモニアガス漏えい時の処置訓練

ii 空気呼吸器装着訓練

iii 高圧ガスの実験

ア モノシランガス燃焼実験

イ LPガス・カートリッジ缶等の破裂燃焼実験

ウ アセチレン逆火実験

iv 酸素・液化石油ガス輸送車防災訓練

2 食品工場及び業務用厨房施設における一酸化炭素中毒事故の防止について

近年、食品工場及び業務用厨房施設に

おいて都市ガス及び液化石油ガス(以下「ガス」という。)の消費設備による一酸化炭素中毒事故が発生しています。平成24年は7件(死者0名、症者47名)発生しており、平成25年は6月末現在で、すでに2件(死者1名、症者3名)発生しています。

このような状況の中で、経済産業省商務流通保安グループ高圧ガス保安室長及びガス安全室長から平成25年7月12日付けで標記件名の通知がありましたので、県では、一般社団法人千葉県LPガス協会に平成25年8月2日付け産保第1049号で通知しました。

食品工場及び業務用厨房施設におけるガスの消費設備による一酸化炭素中毒事故を防止するため、下記の注意事項について、ガスの消費設備の使用者及び管理者に対して注意喚起をお願いします。

[注意事項]

- ① ガスの消費設備の使用中は必ず換気(給気及び排気の両方)を行うこと。
- ② ガスの消費設備の使用開始時及び使用終了時に当該設備の異常の有無を点検するほか、1日に1回以上、ガスの消費設備の態様に応じ、当該設備の作動状況について点検し、異常のあるときは、当該設備の使用中止、補修その他の危険を防止する措置を講ずること。
- ③ ガスの消費設備及び換気設備を、日頃から手入れすること。
- ④ 排気ガス中に含まれる油脂等を有効に除去するために排気取入口に設置されるグリス除去装置(グリスフィルター)や、悪臭防止のために排気ダクト内に設置される脱臭フィルター等は、使用し続けると油脂等が付着して目詰まりを起こし、十分な換気量が確保できなくなることから、当該フィルターの定期的な清掃又は交換を実施すること。
- ⑤ 万一の不完全燃焼に備えて業務用換気警報器の設置が望ましいこと。

3 質量販売における事故防止の徹底について

平成25年8月15日(木)に京都府内の花火大会会場での露天店舗において照明用の発電機に燃料のガソリンをつぎ足そうとした際に、漏えいしたガソリンに引火し火災が発生し、多くの死傷者が発生しましたが、露天店舗では質量販売された液化石油ガスが燃焼器具の燃料として使用されていました。

県では、平成25年8月20日付け産保第1195号で各販売事業者あてに屋台等移動設備の質量販売における事故防止に万全を期するよう通知しましたので御協力をお願いします。

9 月支部長会開催

定例支部長会を 9 月 13 日(金)開催しました。議事内容は下記の通り。

【議事概要】

議題 1 地方自治体への提案活動記録について(依頼事項)

LP ガス発電機を県内市町村へ寄贈した際の提案活動記録の提出を各支部長に依頼した。

議題 2 平成 25 年度千葉県高圧ガス火薬類保安大会について

(報告・審議事項)

事務局より各支部から推薦された候補者の報告があり、優良事業所 5 支部

5 事業所、優良従業員 9 支部 9 名について、表彰することが承認された。

議題 3 平成 24 年度中の都市ガス、液化石油ガス等による事故状況について(報告事項)

標記資料について、報告があった。

議題 4 自主保安活動チェックシートについて(報告事項)

標記チェックシートの提出状況について報告があった。なお、次年度も提出することから、「LP ガス自主保安計画書(例)」を示し、説明した。

(協会HP掲載又は協会へお問い合わせ下さい。)

埋設管事故防止対策講習

昨年から全国規模で実施している「LP ガス安全安心向上運動」(3ヶ年計画)の一環として開催しました。

開催日は 8 月 30 日で 42 名の会員の方が参加されました。

講師は、当協会の防災アドバイザーである荒尾博先生で、保安委員会作成の「埋設管施工ガイド」を資料として活用するほか、一級建築士である荒尾先生独自の資料を用いて、埋設管等の施工の際の注意点や低炭素法の施行に伴い 2020 年から新築住宅に義務化される「認定炭素住宅」(断熱性能+省

エネ機器)への対応を詳細にかつ丁寧に解説頂きました。

各受講者は、熱心に耳を傾けていました。

当協会といたしましては、今後も各種イベントを開催してまいりますので、会員各位の参加をお待ちしております。



エコジョーズ設置・施工研修会開催

②上手に設置エコジョーズの冊子内容説明③ド



本年度協会で進めている需要開発推進運動の事業として、エコジョーズを推進するために、9 月 19 日(木)に千葉県ガス石油会館において午後 1 時 30 分より標記研修会が行われました。

講師には一般社団法人日本ガス石油機器工業会の前田尚男氏より①エコジョーズの普及状況に関する情報提供

②レンの国交省ガイドラインへの対応状況の情報提供④給湯器の転倒防止措置に関する公示への対応について、設置施工に関する講演をいただきました。

また T&D リース(株)須藤良雄氏よりお客様が購入しやすいリース販売の扱いについて説明しました。

会場では、エコジョーズ製造メーカーによる展示会をあわせて行い、商品説明を行いました。

10 月 11 日にも需要開発セミナーがありますので、参加を希望される方は、至急協会まで連絡いただきたいと思ひます。

進捗状況報告書の提出について

需要開発推進運動の事業において、4 月に会員の皆様より提出いただきました安全機器等報告書の中でエネファーム、LP ガス自動車等について本年度の目標台数を掲げていただいております。

運動の実効性を高めるために、この進捗状況について半期毎に報告を求めることとなりました。

つきましては、今回同封しました進捗状況報告書について **10 月 10 日(木)**までに FAX にて協会へ提出の方をお願いします。

(一社)千葉県 LP ガス協会 活動便り

協会ではホームページに【千葉 LP 協 活動便り】の項目を設けました。

協会の活動について随時更新をしていきますので、ご覧いただきたいと思ひます。

なお、支部の活動状況についても掲載していきますので、情報をお寄せいただきたいと思ひます。

九都県市防災訓練実施



9 月 14 日(土)第 34 回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)が主会場を千葉科学大学駐車場前(銚子市)として実施されました。

訓練は銚子市での甚大な被害が予想される実災害を想定した会場訓練、銚子市市民センターでの避難所訓練等を行い、九都県市と防災関係機関の連携協力体制を強化いたしました。銚子支部の方に御尽力いただきました。

「江戸川の風物詩」

市川支部 秋元 利文

暑い日々が続いておりますが、この号が発刊される時にはいくらか涼しくなっている事を願うばかりです。市川支部の範囲は、行政区画でいきますと市川市と浦安市になります。

今回は、市川市の夏から秋にかけての風物詩であるハゼ釣りについて書いてみます。

市川市中央には江戸川が流れております。(元々、江戸川放水路と呼ばれ水害対策に建設された部分) この川では現在でも天然うなぎが取れたり、汽水域の葦(よし)原などにいる絶滅危惧種である「ヒヌマイトトンボ」の生息地としても有名です。

今の時期休日ともなりますと、この川には多くの小型のボートやハゼ釣り天ぷら船が並び、釣り糸を垂れていま

す。ハゼは春に生まれ、8月ごろになると10cm前後になり、天ぷらで食べられる大きさになります。そして9月・10月には釣りの最盛期に向かえます。(産卵に備え餌をたくさん食べる時期なので釣り易い)これが現在の状況ですが、実はこの光景はさかのぼると、江戸時代(元禄の時代、今から400年弱前)から見られたようです。その頃は、「大うなぎ」、「コイ」、「キス」釣りが主だったようです。江戸時代「行徳船」と云うものがあり、江戸日本橋小網町(現、首都高速箱崎インターあたり)を出発して、行徳まで船頭一人の手漕ぎで3~5時間の航程だったそうです。

江戸の旦那衆は、ゆっくりと江戸を出発し、午後には到着し、その日は釣りをせずに行徳界隈の寺社巡りをし、夕方には名物の「笹屋のうどん」を食べて、湯に入り、宿の亭主や釣り仲間

との釣り談義に花を咲かせ、そして翌朝暗いうちから起き出し、釣り糸を垂れたそうです。そして釣った獲物を釣り宿に持ち込み、かば焼きやこいこく等にしてもらい客のお腹におさまる。ほろ酔い気分になり江戸の旦那衆は行徳船の船中ごろりとなって目が覚めれば日本橋という具合だったそうです。さながら近くの避暑地だった様です。

このように、時は経ち、川幅、釣り具、獲物等は変わってはいますが、同じ光景が見られているのです。我々は、この光景が続くことを心掛けていかななくてはならないと思います。その為には、クリーン性の高いLPガスの啓蒙。そして燃料電池や太陽光発電など環境に負荷をかけないシステムの提案を継続していかなくてははいけないと思います。

参考:「行徳歴史街道」文芸社

鈴木和明著

イベント、展示会使用
バナーの販売について

協会では、イベント等に使用できるバナーを作成いたしました。

バナーは折りたたむことができ、運びやすく、高さや張りがあるので一際目立ちます。

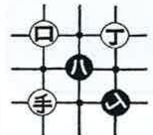
内容については、8テーマ①エコジョーズ②Siセンサーコンロ③エネファーム④エコウィル⑤LPガス発電機⑥人と地球に優しいLPガス⑦災害

に強いLPガス⑧不正勧誘抑止で、各テーマ3~5種類あります。

ご要望に応じて、「支部名」、「販売店名」及び「ロゴマーク」、「キャラクター」、「キャッチコピー」等の掲載も賜ります。

なお、協会のホームページにバナー各種デザインと注文書を掲載しておりますので、ご活用いただきたいと思ひます。バナー1台9,800円(送料代別途)で扱っております。

【バナーサンプル】



お婆ちゃん
ありがとう!

日頃、炎の仲間を御愛読いただきまして有難うございます。今回は、ボランティア活動に触れてみたいと思ひます。

私が、所属する奉仕団体において慰問演奏を4月、6月、9月、10月、11月、年5回行っております。訪問する場所は、養護老人施設、生涯施設であります。メンバーは、バンドマスターが今年会社の代表取締役から相談役になられた65歳(男)担当ベース、ギター担当の営業本部長、もう一方、九州の会社に単身赴任しておられる支店長さん、外資系会社をリタイヤした70歳(男)担当ウクレレ、とある理事長の奥様担当フルート、キーボード担当のピア

ノの先生、この前入会したばかりの歌う弁護士、女性ボーカル、私はボーカルとパーカッション担当、あとフラダンスの先生以下8名の生徒さんお年は67歳以上(笑い)こんなメンバーで慰問演奏に伺っています。

曲はハワイアン、昔の曲、カントリー、唱歌、フォーク、何でも演奏します。慰問演奏の一例を御紹介いたします。養護老人ホームでの事、機材を搬入し音合わせをしていると、車椅子が運ばれてくるお爺ちゃん、お婆ちゃんが、我々の前に横2,3列に並びます。普段はイベントが無いので、楽しみに待っている方、さまざまな方がいらっしやいます。司会のバンマスが、流暢に笑いを混ぜながら演奏を始めていきますと、青白い顔したお婆ちゃんが、

ピンク色に変わり車椅子から降りて演奏している我々のところに来ようとします。するとケアマネージャーの方が危ないから立たないでと支えようとすると、その手を振り切って歩き始めたのです。そして私も一人一人に握手してくれたのです。そのお婆ちゃんは、入所してから車椅子の生活だったそうです。驚きました。偶々お婆ちゃんの好きな歌を聴いて何らかのスイッチが入ったのではと、そこの室長が音楽療法つてあるのですねーと云っておりました。私の母も89歳になるのですが演奏していますと、お婆ちゃん達が自分の親に見えてくることがあります。演奏が終わって自分の心の中に残っている気持ち、教えられない教育とでもいのでしょうか。お婆ちゃんたちは何も言わなくても感動を与えてくれます。

K・Y 記